

# 成 イ 大 フ ア ハイブリッドエマルジョン 硬化性に優れる有機無機

大成フアインケミカル(千葉・稲生豊人社長)は、有機・無機両者の特性を併せ持つハイブリッドマテリアルとして、光学材料、建築材料、プラスチック材料、半導体材料などさまざまな分野での利用が考えられてきた。そこで同社では、上記課題解決のため、反応性シリカ(シラノール基含有ポリシロキサン)を力

リッドエマルジョンは、併用有機物に起因する耐溶剤性の低下や塗膜の強靱不足(もろさ)など多くの課題があった。そこで同社では、上記課題解決のため、反応性シリカ(シラノール基含有ポリシロキサン)を力

また、アクリルエマルジョンにもシラノール基を含有させ粒子を安定化することで、塗膜形成時に高い硬化性を有する常温硬化タイプの有機無機ハイブリッドエマルジョンの開発に成功した。

同品は、ハイブリッド粒子の持つシラノール基の縮合反応による高い硬化性により、優れた耐溶剤性、耐水性を有する高硬度塗膜を形成することができた。またアクリルエマルジョンの持つシラノール基との反応から強靱性の高い塗膜の発現が可能となった。

さらに、同品の粒子径

は50nmと微細な粒子径

なため、塗膜の透明性にも優れており、フィルム用ハードコート剤、金属表面処理剤、塗膜系ハイター(光触媒塗料、高耐候性塗料など)等の環境対応型水系機能性コーティング材料として幅広い

使用が期待できる。

今後、有機/無機の成分比率の変更、エマルジョンの改質、アニオン系の設定など、同社が得意とするカスタマイズな設計にも着手し、積極的な用途開拓を進め販売を展開、3年後には年間売

上高2億円を目指す。

問い合わせは同社営業グループの渡辺修一氏・川崎裕樹氏(☎03・3691・3111、Eメール:info@kaiser-i.co.jp)まで。